



甲佐高だより

祝 NHK 旗出場!!

野球部城南地区大会3位!

(6月号) 134号

発行日:平成27年6月15日

発行責任者:校長 山下 由美

編集:総務部

甲佐高だより4月号でNHK旗出場を目標に掲げていた野球部が、4月に行われた城南地区大会で3位になり、2年ぶりにNHK旗に出場しました。

5月28日の熊本商業との1回戦では、5-4で見事勝利しました。続く2回戦で文徳高校に惜しくも敗れましたが、夏の大会前に強豪校と対戦するという貴重な経験を積むことができました。

夏の大会でも、甲佐高野球部の応援をよろしくお願い致します!

★試合結果★

城南地区大会 1回戦 ○10-7 芦北
2回戦 ○5-2 人吉
3回戦 ○5-4 小川工
準決勝 ●0-10 秀岳館
3位決定戦 ○1-0 八代工

NHK旗 1回戦 ○5-4 熊本商
2回戦 ●4-11 文徳



高校総体・総文祭

5月23日から行われた高校総体に、本校からサッカー部、ソフトテニス部、バドミントン部、弓道部と陸上部が出場しました。開会式では3年生が入場行進しました。また、県立劇場で行われた総文祭を音楽部とボランティア部が観覧しました。どの部も今回得たことを新チームでの活動の糧にしていきます。



3年生が入場行進

バドミントン

吉村 知茉
(御船中)
上野 和
(甲佐中)

ソフトテニス

(写真左)中窪 知郁
松永 実莉
(甲佐中)

(写真右)甲斐 希翔
松永 実莉
(甲佐中)



サッカー 松橋高校と対戦

陸上400m

池本 真也
(甲佐中)



高校総体を終えて

弓道部 三年 羽田野 柊子
(下城南中出身)

私は三年間、弓道部に所属して来ました。弓道を通して、私は毎日一つのことを続けることが大切だと思いました。練習があまりできなかった時期の大会では良い成績を残すことができなかったからです。部活動をしていて良かったと思うことは、普段は関わることが少ない他の学年の人達と話せることです。私は自分から人に話しかけることが苦手だったけれど、弓道部の人と話すことは楽しかったです。高校総体では、「この大会で終わりのなんだな」と思い、の前に立つと緊張しました。結果は、四射中一本当たりました。一本は当たったので、安心してました。三年間練習してきました。良かったと思います。高校での部活動は引退となりますが、これからも学んだ事を活かせるようにしたいです。



1年生宿泊研修

四月十六日(木)、十七日(金) 国立阿蘇青少年自然の家で一年生集団宿泊研修を行いました。
学校生活への目標を明確にすると共に、水基めぐりを楽しみました。

★宿泊研修を終えて

一年二組 松永 実莉(甲佐中)
今回の宿泊研修を通して、心に残ったことが二つあります。

一つ目は、校長先生の話です。言葉や命を大切さを教えて下さり、マイナスな発言はいけないということがわかりました。私はマイナスな発言をすることが多かったので、「キャンセル」できるようにしたいと思います。

二つ目は、水基めぐりです。班のみんなと協力しながら回ることで、チームワークの大切さを学ぶことができたと思います。長時間歩いてきついなと思っただけで、声をかけ合いながら頑張れたので良かったです。

二日間の研修を通し、たくさんのお話を学びました。これからも、この経験を活かして頑張りたいです。



★高校生活で頑張ること 一年三組 後藤 竜太(砥用中)

高校生活で頑張ることは三つあります。
一つ目は勉強です。高校では計画的に勉強していくことと思います。

二つ目は野球です。中体連では優勝できず悔しかったので、高校で野球を頑張りたいです。先輩達のサポートをしながら、今の内に体力をつけて、新チームで試合に出れるようになります。

三つ目は資格取得です。将来の夢はまだ決まっていませんが、いろんな資格を取り、職業選択の幅を広げていきたいです。

高校では、一つの三つのことを目標に、感謝の気持ちを忘れず頑張りたいです。

国立阿蘇青少年交流の家



緑川の日

四月二十九日の緑川清掃に本校生徒四十一名と職員が参加しました。地域の活動に少しでも貢献できるよう、積極的にごみ拾いに取り組んでいました。
また、緑川クイズウォークに一年生や職員が参加し、緑鮮やかな甲佐町の自然に癒されながら楽しく歩きました。



3.333段に挑戦!

五月一日に美里町の三千三百三十三段の日本一の石段を登りました。天候に恵まれ、友人達と励まし合いながら登り切ることができました。頂上では、育友会の保護者の方々が、飲み物等を準備して下さい、降りるまでのパワーをいただきました!



食育講演会

五月九日の育友会総会で、八代工業高校教頭緒方美智子先生による「食で育むこと」から「講演会」が行われました。

朝食には、体のリズムを整え、授業に集中できる効果があることをわかりやすくお話していただきました。また、食材の値段やどのような調理法があるかを話され、多くの生徒がいつも食事を準備してくださる保護者の方々への感謝の気持ちを感想文に書いていました。



「近くの甲佐高校」

教頭 松野 研介



甲佐町の人口は、約一〇〇〇人だとお聞きしました。甲佐高校の同窓生は、一五二一八人です。
が、ここで学びました。

さて、若い人が自分の住む町や地域を正當に評価せず、人口が多い大きな街に憧れる、という気持ちは分かります。熊本市内や大きな店が立ち並ぶ所には、何かある気がするでしょう。

しかし、高校生の生活を考えてみれば、朝早く起きて学校へ行き、夕方暗くなるまで部活動をして家に帰る。ほとんどそれだけで、一日が終わるのが健全なあり方です。あとで振り返ってみれば、自分の家と高校の往復しかしていないのが高校生です。

ネット社会のおかげで、どこに住んでいても、どこの高校に通っていても、ほぼ等しく情報を手に入れられる時代になりました。どこの街に行っても、同じような店で買い物をし、同じようなものを食べています。鳥取でもスタバです。

急がず、慌てず、自分の町をあと三年長く楽しむ方法があります。近くの甲佐高校へ行くことです。

★中3生向けオープンスクールを実施します。

七月二十三日(木) 九時〜十二時半